



はな 花にはどうしてみつがあるの

あまいみつは、^{こんちゅう とり よ}昆虫や鳥をよび寄せるため

^{こんちゅう とり はな}昆虫や鳥には花のみつをえさにしている^{しゅるい}種類がたくさんいます。花は、これらの生き物に^{す か}みつを吸わせる代わりに、おしべの^{かふん}花粉をめしべに^{はこ}まで運んでもらいます。みつは、そのためのごほうびです。

^{はな うつ さ}花が美しく咲き、みつを出すのは、^{だ かふん はこ むし}花粉を運ぶ虫たちをよびよせるためといってもよいのです。

^{びょう}みつ標

^{はな}すみれの花にはよく目立つ^{めだ もよう み}模様が見えます。^{こんちゅう}昆虫に^{しめ}みつの^{びょう}ありかを示すみつ標とよばれる^{もよう}模様です。みつはこの奥にあるよと虫たちに教えています。

^{かぜ かふん はこ}風などで花粉を運んでもらう^{しょくぶつ}植物には、みつがない

^{おも かぜ かふん はこ}イネやムギやトウモロコシは主に、風に花粉を運んでもらいます。このような^{しょくぶつ}植物を^{ふうばい}風媒花といいますが、^か風媒花の^{ふうばいか}植物の^{しょくぶつ}花は小さくて目立ちません。虫たちが花を見つけやすくする^{はな}必要がないからです。また、みつを出すこともないのです。

^{しょくぶつ}植物と^{こんちゅう}昆虫とのよくできた^{かんけい}関係

^{しょくぶつ}植物は、^{かくじつ}確実に^{かふん}花粉を^{はこ}運んでもらうために、^{とくべつ}特別の^し仕かけをもつものが多くあります。キョウ、オオイヌノフグリ、エニシダなど^{みじか}身近な^{しょくぶつ}植物にもありますので、^{かんさつ}観察してみてください。^し仕かけについては^{しょくぶつずかん}植物図鑑などで調べましょう。（監修・中山 周平）

